

紫外線処理装置について(7)

はじめに

第7回目となる今回は、紫外線処理棟の工事の進み具合と工事で使用した機械についてお知らせします。

工事の進み具合

事務所入口門扉から見た状況

浄水池北(東側)から見た状況

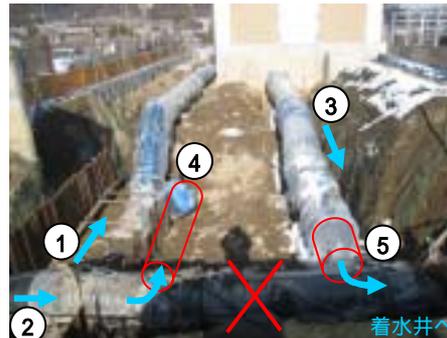
棟内の状況



平成23(2011)年12月7日：外装、棟内配管も完了し外配管工事も進んでいます。電気機械設備が設置され、11月に契約した外構工事が終われば完成です。



左写真を間近で見た状況



四ツ屋系(6井)と場内系(3井)からの導水管

小松原系(5井)既設導水管
紫外線処理棟から着水井への導水管

管と管を接続
着水井への導水管(既設)へを接続

X 既設管を止水

配管図は第2回目を参照

平成24(2012)年1月5日：外配管工事も順調に進み上記配管を残すのみとなりました。後は電気機械設備の設置と試験調整が済めば紫外線処理装置の運転が可能になります。

外配管工事について

井戸から取水した原水を紫外線処理装置を経由して着水井に送るための配管工事を行うに当たり、工事中もいつも通りに水道水を使えるように不断水による配管工事を行いました。



作業状況



穿孔機(さっこうき)

既設の鋳鉄(ちゅうてつ)製水道管に通水したまま
カッター(黒い部分)で穿孔します。